（創造）これらを通じて更なる新たな価値を創造していくことのできる生涯学習社会

最先端の場から日常生活に至る社会の様々なステージにおいて，多様な価値観を受容し，それらがぶつかり融合することを通じ，新たな価値を創造することができる環境を構築することを目指す。

（未来への投資による危機回避のシナリオ）

○　「自立」「協働」「創造」の実現に向けて，教育は，人々の主体的・能動的な成長をもたらすものであると同時に，社会の幅広いつながりをもたらす営みとして一層重要性を増すものである。

これは，我が国の成長を支えるための投資として，あらゆる世代の全ての者が主体的に学び，能力を高め，次代を創造する主権者として社会参画することを社会全体において促す「積極的福祉（ポジティブ・ウェルフェア）」の概念に立脚するものであって，上述の様々な日本の強みも生かしつつ教育を充実することにより，以下のような危機回避シナリオの実現を目指す。

（個々人の自己実現，社会の「担い手」の増加，格差の改善）

・　人々の「潜在力」が社会の様々な分野で最大限に生かされるよう，社会的自立の基礎を培う「子ども」から，職業生活におけるスキルアップ等を目指す「社会人」，これまでの経験を社会に還元しつつ生涯にわたり学び続ける「高齢者」に至る全世代が，また，共生社会の理念も踏まえ，これまで十分な社会参画が進んでいるとは言えない女性や外国人，障害者などを含む社会の構成員全てが，多様な個性と能力を高め，十分に発揮できる「生涯現役・全員参加型」社会を構築する。あわせて，出生率が低い水準にとどまっている状況なども踏まえ，未来の希望である子どもを安心して産み育てることができる教育環境を実現する。

これらを通じて，今後の社会の担い手を増加させるとともに社会格差を改善する。

（社会全体の生産性向上）

・　グローバル化，産業構造の変化などに対応した生涯にわたる能力向上の機会を充実し，その能力が適切に評価される仕組みを整備することにより，将来展望を描きながら，転職等をチャンスと捉えることができるような環境を構築する。これを通じて，高度の職業能力を持つ人材，グローバルに活躍する人材，イノベーションを実現する人材の養成・確保を図り，成長分野の産業活性化，新産業の創出などを実現する。

（一人一人の絆（きずな）の確保）

・　一人一人が公共の精神を自覚し主体的に他者と協働する意識を醸成するとともに，仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現や学校・家庭・地域の連携強化などにより学習や社会参画を可能（かのう）とする環境を整備する。これを通じて，一人一人，さらには社会全体の絆（きずな）づくりを図り，社会関係資本*3 を形成する。

*3 ＜社会関係資本＞
ソーシャル・キャピタル。社会・地域における人々の信頼関係や結び付きを表す概念。

（国民全体の幸福の実現）

・　以上を通じて，一人一人が誇りと自信を取り戻し，社会の幅広い人々が実感できる成長を実現する。また，国際的にも，地球規模の課題解決に貢献し，持続可能な社会を構築することにより，世界から信頼・尊敬される存在感ある国へと飛躍する。